リスナーにもお馴染み

地域交流拠点『ステージえんがわ』10周年

三条市の図書館等複合施設まちやまの中にある、地域の交流拠点「ステージえんがわ」が開館して10周年を迎えた。このたび、記念のイベント「ありが10祭」が行われ、地元の伝統芸能の舞や高校生の合唱、大学生のダンスなどを披露して節目を祝った。

えんがわはその名の通り、誰もが気軽に立ち寄れる縁側のような空間として「ヒト・コト・マチ」をつなげて行き、年齢を問わず、外出したくなる場所を目指して作られた。

外出するきっかけづくりとして「うたごえ喫茶」「そば打ち体験」「篠笛コンサート」など、年間250回超の多彩なイベントを開いているほか、毎週金曜は燕三条エフエムの「燕三条系さとちん電波」の公開放送の会場として朝からリスナーが駆け付ける。木造平屋建てで、木肌の良さを全面に活かした作りとアーチ状の梁が目を引くほか、奥には、地元食材と20種類のスパイスをふんだんに使ったスパイスカレーが味わえる「三条スパイス研究所」がある。

施設を管理運営するNPO法人えんがわの長野源世理事長は「隔たりのない建物として生まれた、まちなか交流広場『ステージえんがわ』。10年間本当にありがとうございます。これからも地域資源である『ひと・もの・こと』をつなぎ地域の誇りの醸成、愛着を生み出していきます。気軽に私たちにコンタクトして下さい」と話している。

燕三条系さとちん電波　えんがわでの公開放送

新番組『堀ちゃんとお菊の・・・』

（毎週火曜午後1時～3時枠）初回放送7月7日

お菊　堀敏彦さん

星☆に願いを
七夕のお昼!?
ラヂオは～とに
彦星と織姫が舞い降りる…

新たな顔ぶれでラヂオは～との火曜の昼が変わります！

豊富な知識と楽しい語り口調で、県民に親しまれてきた元TeNYの看板アナウンサー堀敏彦さん（64）をメインMCに迎え、ラヂオは～との新番組「堀ちゃんとお菊の・・・」（毎週火曜午後1時－3時枠）を7月からスタートします。堀さんと言えば、同局のアナウンサーだけでなく、その昔、日本テレビ系列の情報番組「スーイン!!朝！」や音楽番組「トップテンの中継リポーターとしても幅広く活躍してきた。昨年10月、ラヂオは～との「モーニング・ハートーいいねっか亭」に出演の際には、安定した伝え方と記憶を呼び覚ます当時の話に花が咲いた。

新番組でタッグを組むのは、タイトルからも分かる通り、さとちん電波隊のお菊。話のプロの堀さんと飾らないお菊のトークがどんな化学反応を起こすか楽しみだ。

また、番組にはゲストコーナーも設けて、ゲストを深掘りするほか、堀さんがセレクトした懐かしいCDも流します。

注目したいのは、県内のラジオ界に君臨するフリーアナウンサー遠藤麻理さんのBSNラジオ「四畳半スタジオ」の裏番組にあたること。ラヂオは～としてもまずは数字よりも新番組の趣旨を示すことを優先していきたい。「何か新しい形の番組を届けたい」という挑戦の思いが強い。今回、堀さんを起用することで、TeNY時代には見えてこなかった素顔が見えてくると一つの売りポイントにはなりそうだ！

またTeNYでの情報番組を長く担当し、生放送での臨機応変な対応も期待できる。

堀さんとお菊のワールド全開の楽しすぎる120分をお届けします！

（初回放送は7月7日火曜午後1時から）

新番組オリジナルステッカーも！

新番組「堀ちゃんとお菊の・・・」の放送開始を記念したオリジナルステッカーを作っちゃいましたよ！メインMCの堀敏彦さんとアシスタントのお菊を可愛らしくイラストに。タテ9.3㎝×ヨコ13㎝のはがきサイズ。毎週火曜午後1時はPPCスタジオに全員集合っ！

76.8MHz
僕らのラヂオ通信
Our radio news letter from Tsubame Sanjo FM
第24号
7月8日、9日
2026.07.01
Take Free

燕三条エフエム放送
〒959-1263
燕市大曲3375（燕市交通公園内）
TEL（0256）61-7680
FAX（0256）61-7688
E-mail　info@heart768.com
URL　http://www.heart768.com
「まさか…」の時に役立つ ラヂオ聴～と FM 76.8 MHz

『燕三条系さとちん電波』公開放送のお知らせ！

2026年7月7日(火)午前9時～11時

場所：燕市役所 1F つばめホール
（燕市吉田西太田 1934 番地）

入場無料 申し込み不要です。直接、会場へお越し下さい

出演：さとちん電波隊・堀敏彦さん・
佐野大輔燕市長 他

燕市役所燕庁舎での公開放送

2月に行った

おかえりなさい！

やっぱり 燕三条系さとちん電波

月曜から金曜午前9時～11時枠に再び

まるで奇想天外なパーソナリティさとちんとゆかいな仲間たちがパワーアップして帰って来た！再び月曜から金曜の週5日枠で午前9時から11時まで燕三条エフエムで『やっぱり 燕三条系さとちん電波』を放送している。

独自のスタイルを確立したさとちんがその日の思いつくまま大胆に切り込んでいく一方、時折り見せる真面目さとのギャップにやられてしまうリスナーも多い。もちろん日常に役立つ情報も伝えています。またオープンスタジオなので、話題の矛先が観覧に訪れたリスナーに向けられる、愛あるいじりがさく裂する場合もあって面白い。

約15年前にスタートした同番組。時にはスタジオを飛び出して公共施設や商業施設で公開放送を行ったり、番組から誕生した音楽ユニット「さとちん電波隊」結成や活動コンサート、またリスナーとの旅行など、イベントは多数にのぼる。コミュニティFMならではのパーソナリティとリスナーとの絆は深い。再び注目を集める「燕三条系さとちん電波」。リスナーはそこにどんな思いを託すのか！

決定 愛称 名称

八十里越 橋梁名づけ親はラヂオは～とリスナーの弟さん

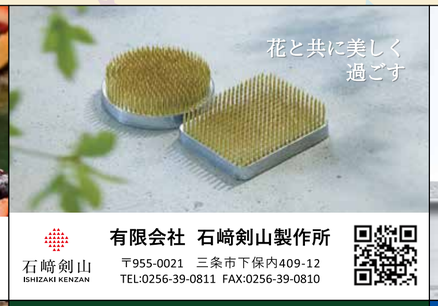
令和9年夏に暫定開通する国道289号八十里越を象徴するき橋梁とトンネルの合わせて4構造物の名称が公募で決定した。6月27日には三条市スポーツセンターはやぶさで名づけ親の賞金授与者4人に対して表彰式が行われた。その中でも「馬追沢橋（まごいざわはし）（2号橋梁）」と名付けた三条市在住の髙橋明さん。何と、ラヂオは～とリスナー「クッキー」さんの弟さんでした。おめでとうございます！

『大曲にぎわい交流エリア まがりんく』に

燕市は、燕市産業史料館やうさぎもちハレラテつばめ、燕市体育センター、燕市交通公園など、7つの特徴的な公共施設が集積する燕市大曲（県央大橋西詰）エリアの愛称を「大曲にぎわい交流エリア まがりんく」と決定した。「まがりんく」は地名の大曲に、繋がりや絆を意味する「リンク」を組み合わせた造語。応募総数822件の中から県外3人が考えた「まがりんく」が採用された。

佐野燕市長として初めての『市民とのふれあいトーク』リスナーからも意見挙がる

燕市長が市民と直接対話し、市政やまちづくりについて意見交換を行う「市民とのふれあいトーク」。鈴木力前燕市長時代から続く取り組みで、新年度に入り、約1年ぶりに開催した。「みんなでつくる燕市」をスローガンに掲げる、佐野大輔燕市長として初めての開催となった。

5月に開催された会場のひとつ吉田産業会館には、主催者発表で約30人が来場した。今年、合併20周年を迎えた燕市。合併当時の平成18年（83，103人）と令和7年（73，742人）を比較した人口は9，361人減少。なかでも20代から30代の若年層の減少が目立つという。一方、予算に関しては市民サービスの維持・向上など、合併当時と比べ、年度当初予算が増加傾向にある。これらのことを踏まえた人口戦略や、それを支える都市環境の整備、持続可能な行財政運営を推進するための令和8年度予算／一般会計予算の重要ポイントについて佐野燕市長が大型スクリーンを用いて説明した。重点政策として、「稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ」を掲げ、地場産業の生産性や市民の所得を向上させたり、未来を創る子どもたちがいきいきと活躍できる環境を整備したり、また世代の垣根を越えた官民一体となった市政への参画を促したりする取り組みについて話した。他にも交付金を活用した物価高対策の燕応援フェニックスクーポン発行、32年間改定しないままの下水道使用料の適正化の理解を求めた。

質疑応答では、娘が通う中学校吹奏楽部の楽器の修理費負担や市内立図書館の未来像などについて質問があがったほか、保護者と一緒に参加した女子児童から「私はまちづくりに興味があります。燕市が（今より）明るくなる為に、私に何が出来ますか？」といった貴重な意見も挙がった。この日は、燕三条エフエムの男性リスナーも参加しており、県の基本理念を引き合いに出して「『訪れてよし、住んでよし、働いて学んでよしの燕市』にしてほしい。これからの世代を担う学生が『学んで、そして働いて良かった』という声を佐野燕市長に届けられる市にしてほしい」と話していた。